学校番号	４１４

令和８年度　国語科

教科	国　語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　論理国語」　（明治書院）						
副教材等	「入試頻出＋現代重要単語　TOP2500」（いいずな出版） 「新成現代文」（尚文出版） 「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店） 「最新国語便覧確認ノート」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第１学年の「現代の国語」では、論理の展開や表現の工夫の仕方、筆者の主張の掴み方や効果的な説明の手法を学び、実践してきた。本科目では、語句の難度や論の抽象度が一層高まり、これまでよりもいっそう読み応えのある作品に触れていく。また、本単元を通して専門性の高い分野の知見についても触れ、多様な社会のあり方や文化を知り、語彙を獲得し、自分の考えを表現する糧としてほしい。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	前編　１世界・地域 ［教材］ 「二一〇〇年の世界地図」 峯陽一 （p. 12～p. 19）	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b:[読]実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理している。 c:本文内容の正しい理解や周囲の意見などを踏まえて、情報の解釈のありかたについて考えを深めている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察
	前編　２社会行動 ［教材］ 「『家族の幸せ』の経済学」 山口慎太郎 （p. 42p. 50）	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で活用している。 b:[読]文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:積極的に文章構造を把握し、学習課題に沿って資料の内容を把握するなかで、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察
	［教材］ 「猫は公開するか」 野矢茂樹 （p. 84～p. 93）	a:効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b:[読]主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c:論理的な文章を批判的に検討する活動を通して、進んで文章の効果的な組立て方を理解している。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察
	［教材］ 「『間』の感覚」 高階秀爾 （p. 58～p. 68）	a:文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b:[書]個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察

二学期	後編　１都市・建築 ［教材］ 「変われ！東京」 隈研吾 （p. 208～p. 215）	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b：[読]文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 c：論理的な文章を読む活動を通して、積極的に文章の組立て方について理解を深め、学習の見通しをもって要旨を把握するなかで、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認	行動の確認と 観察
	後編　４社会・体験 ［教材］ 「現代社会における物語」 河合俊雄 （p. 294～p. 299）	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で活用している。 b：[読]関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：教材の内容に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察
	世界を視る位置 ［教材］ 「消えゆく言語・方言をマンるには」　木部暢子 （p. 316～p. 324）	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：[書]多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：自分の考えをまとめる活動を通して、進んで語彙を豊かにし、学習課題に沿って主張を明確にするなかで、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察
	後編　６平等・制度 ［教材］ 「憲法への招待」 渋谷秀樹 （p. 340～p. 347）	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b：[読]設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：資料を調べまとめる活動を通して、積極的に情報と情報の関係について理解を深め、学習課題に沿って自分の考えを広げるなかで、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察

三学期	前編　８経済・資本 ［教材］ 「貨幣は言葉である」 丸山圭三郎 （p. 182～p. 188）	a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b:[読]人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:論理的な文章を批評する活動を通して、積極的に情報と情報の関係について理解を深め、学習の見通しをもって考えを深めるなかで、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察
	６　技術・規範 ［教材］ 「AI と憲法的価値」 小塚壮一郎 （p. 148～p. 153）	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b:[書]個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c:主張が的確に伝わる文章を書く活動を通して、進んで情報の階層化について理解を深め、学習課題に沿って工夫するなかで、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察
	後編　７近代・現代 ［教材］ 「私の個人主義」 夏目漱石 （p. 362～p. 378）	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b:[書]文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:自分の考えをまとめ批評し合う活動を通して、進んで言葉の働きを理解し、学習の見通しをもって自分の文章の課題を捉え直すなかで、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の確認と 観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　２５～３０　）時間

・読むこと　…　（　４０～４５　）時間